



賃貸住宅フェア2018in札幌に出展しました！

9月4日・5日に開催された賃貸住宅フェア2018in札幌に出展致しました。2日間で約4,000人の方が来場され、セキュラのブースにも多くのお客様が足を運んで下さいました。来場いただいた方々に感謝いたします。

今回のフェアも、他会場と同じく様々な業界の方が来場していましたが、セミナーで勉強したり、各企業のブースで情報収集を行ったりする熱心なオーナー様が多くいらっしゃるように感じました。

札幌は北海道で唯一人口が増加している自治体です。それだけに競争が激しく、また逆に札幌以外の地域では空室対策が必要になっているように思えます。

物件の差別化や入居率のアップの手段は多く存在します。その中でセキュラは**マイロックという手段を通じて、オーナー様のご要望や問題解決のお手伝いを続けていく**所存でございます。



札幌に拠点を置く代理店、(有)ブルーフィールドさんも参加して下さいました。同社は、マイロックとあわせて、**収納に特化した部屋づくり**で魅力ある物件を作っています。

「平成30年北海道胆振東部地震」により、お亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にも、心よりお見舞い申し上げます。セキュラ社員一同、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

賃貸住宅フェア札幌には3名のスタッフが参加しました。フェアも無事終わり、地元代理店の方々と食事をしてホテルへ戻りました。3人の内2人は札幌の繁華街に、もう1人は札幌副都心に宿を取っていました。そして翌日の飛行機で帰る予定でしたが、その日の未明に地震に遭いました。

午前3時過ぎに地震が起き、非常に大きな揺れが襲ってきました。副都心の高層ホテルに宿泊していたスタッフは建物が崩れ落ちるのではないかと考えるくらいの揺れと衝撃があったと言います。

その後もなくして電気・水道が止まり、ホテルの窓を覗くと街灯や信号は全て消え、繁華街にもかかわらず一面真っ暗闇に覆われてしまいます。まるで漆黒の海底にいるようでした。

そしてホテルは宿泊客への対応ができない為、延泊を断らざるを得ない状況でした。チェックアウトを済ませ、ホテルを出てはみたものの、空港は閉鎖で飛行機は全て欠航。電車は止まりバスやタクシーも動いていない状況で完全に途方に暮れてしまいました。

ここで助けて頂いたのは、地元セキュラ代理店のブルーフィールド社の青田社長でした。自らも家族や会社の心配があったにもかかわらず、2名のスタッフを繁華街から副都心のホテルまで車で送って下さったのです。しかも道路は信号が消えており、事故が起きないように細心の注意を払いながら運転をする必要がありました。移動手段を持たない我々にとって非常にありがたいものでした。おかげさまでスタッフ3人は合流できました。

副都心のホテルは自家発電により電気・水道が生きており、さらにはロビーを開放してくれたおかげでひとまず落ち着くことができました。夕方にはカレーやスパゲッティなど食事を配ってくれ、夜は空いている部屋を安く提供してくれるなど、厚い対応を頂き、安心して夜を過ごすことができました。

またロビーで待機している間に、今回出張プランを依頼した旅行会社に帰る案を相談したところ、苫小牧からフェリーで青森・八戸へ移動、八戸から東北新幹線で東京に戻るプランを提案いただき、すぐにフェリーの予約を取って頂きました。

何とか苫小牧まで移動し、フェリーで一夜を過ごし、翌朝八戸より新幹線に乗り、予定より2日遅れながらも無事に東京へ帰る事ができました。

この度は多くの方々にお世話になりました。言葉では表現できないほどの感謝でいっぱいです。ブルーフィールド社の青田社長をはじめ、コンビニの店員、ホテルのスタッフなど自らも地震の被害を受けているにもかかわらず、知らない土地で困っていた我々に親切にして頂きました。我々は北海道を出て自宅に帰りさえすれば平穏な生活が待っていますが、彼らは今後日常を取り戻さなければならぬのです。

普段から出会いを大切に、ご縁に感謝をしているつもりですが、今回**改めて人と人の繋がり**の大切さと**ありがたさが身と心に沁みました**。

毎日普通に仕事ができるありがたみ、毎日当たり前で生活できるありがたみを再度思い出し、忘れないこと。常に感謝の気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動すること。

今回の賃貸フェアではセキュラの社員ではなく、一人の人間として非常に貴重な経験を得る事になりました。

～お知らせ～ 賃貸住宅フェア2018in大阪に出展いたします。

今年も残り3ヶ月となりました。賃貸住宅フェアの開催も終盤に差し掛かります。今回の会場は大阪です。同会場では『住まい×介護×医療展』『リフォーム産業フェア』と3つのイベントが同時併催され、多くの来場者で賑わいます。

オーナー様、管理会社様のお役立ちができるよう精一杯努めます。是非フェア及びセキュラのブースにお越しください。一同心よりお待ちしております。

賃貸住宅フェア2018 in 大阪

開催日 10月11日(木)・12日(金)
開催時間 10:00～17:00
会場 インテックス大阪





【やまぐち産業維新展】に出展しました！

山口ゆめ花博のイベントの一環として『やまぐち産業維新展』が開催され、セキュラも参加しました。本展示会は山口県下企業・団体170社が一同に集結し、企業PRおよびものづくり人材育成を目的に、企業展示ブースや学生向け体験コーナーなどが設置されたイベントです。多くの来場者で賑わい、セキュラも存分にマイロックをアピールしてきました。また、県内の高校ではこのイベントに全校をあげて参加している学校も多く、たくさんの生徒が見学に訪れていました。これから就職を控えた学生にとっては就職セミナーとはまた一味違った地元の企業や人との出会い・経験となったのではないのでしょうか？山口県では就職を機に地元を離れる学生もいますが、この展示会が地元企業との良い出会いの場となればと思います。また、今回の出展でセキュラにとって素敵な出会いがありました。詳しくは右のコラムでご紹介します。



オープニングセレモニーでは村井県知事も参加してテープカットが行われました。



多くの高校生が来場。社会と触れる初めての経験となった人も多いと思います。



左:セキュラのブース
来場した学生さんには商品紹介だけでなく、**リクルート活動!**も行いました。当日は、たくさんの方が足を運んで下さり感謝致します。そして、とある人がブースにいらっやいました。

お客様の声 ～設置インタビュー

出会い～ご成約までの経緯

やまぐち産業維新展に来場された宇部市のO様。そこで、偶然セキュラのブースが目に入り、ピンときたそうです。「あれは、玄関についている電子錠の会社じゃないの？古くなって今は使っていないし、これは随分と形も機能も違うみたいだけど・・・」。気になったO様がセキュラのスタッフに尋ねたところ「もし、現在付いている電子錠が当社のマイロックであれば新機種への交換も可能なので、ぜひご連絡ください」と言われたそうです。ただ、尋ねられたスタッフは本当にセキュラかな？ひよとして他社の機種かな？・・・と、その時は思っていました。しかし、O様は自宅へ戻り、**すぐに玄関を確認！そこには確かに「SEQRA」の文字が！**翌日すぐにセキュラに連絡を入れ、出会いから一週間での設置となりました。



初代マイロック「S」シリーズ。20年前に誕生した商品です。今回、設置させていただいた「VF」シリーズ。

設置後～お客様に聞きました

- Q1. これまでマイロックSを使っていた時のご感想は？
- A1. **子どもが小学生の頃、カギを失くすことが度々あって、オートロックだと失くす心配も無く、いつでも家に入ることができ、とても助かっていました。**
- Q2. 今回新しくマイロックを付けようと思った決め手は何ですか？
- A2. **私が使っていた頃と違って、ICカードも使えるようになっていて驚きました。更に利便性が良くなっていて、すぐに購入を決めました。**
- Q3. 今後のセキュラに期待することがあれば教えてください。
- A3. **後付けのオートロック電子錠は、まだまだ一般家庭では周知されていないところもあると思います。私と同じように、マイロックを使い、その良さを知る人が増えていくことを楽しみにしています！**

【山口ゆめ花博】のご紹介！

先月号でご紹介させていただきました『山口ゆめ花博』が山口市で9月14日からスタートしました。(11月4日まで計52日間)この博覧会は、山口県の明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核を為すイベントであり、文字通り県下挙げての一大イベントとなっています。会場は、イベント名に因んで花や緑をテーマにした9つのエリアから構成されており、その中でも、木のブランコや竹のコースターなどは、日本一の高さや長さを誇る規模となっており、**連日の大盛況**となっています。また、イベント会場ではライブやトークショー、航空自衛隊によるブルーインパルスの展示飛行なども予定されており、**9月25日時点で来場者数は累計227,000人を突破**。県内のみならず、県外からも多くの方が山口を訪れ博覧会を盛り上げています。ぜひ、機会がございましたら、セキュラの地元である**山口県ならびに山口ゆめ花博へお越しください。**



假屋崎省吾作 イベント展示



左:日本一高い木のブランコ 右:日本一長い竹のコースター ※整理券の配布が午前中で完了してしまう程の人気です！



9つのエリアの1つ「花の谷のゾーン」